

知的財産を軸とする産学官連携の新展開
大学、TLOにおける
知的財産戦略の進展と課題

平成18年6月10日
産学官連携推進会議

九州大学ビジネススクール 助教授
九州大学知的財産本部 技術移転Gr.リーダー
高田 仁

takata@imaq.kyushu-u.ac.jp

九州大学の産学官連携活動

- 産学官連携活動は着実に進展しているが……

	2000	2001	2002	2003	2004	2005
共同研究	115	149	193	243 (4)	350 (21)	388 (32)

() -----うち組織対応型共同研究

	2000	2001	2002	2003	2004	2005
大学発 ベンチャー	3	3	4	1	7	5

	2000	2001	2002	2003	2004	2005
特許出願	38	73	68	86	100	167

	2000	2001	2002	2003	2004	2005
技術移転	1	6	5	23	40 (+44)	39 (+66)

() -----不実施条項付の企業共願件数

大学・TLOの知財戦略上の課題

(1) 国際的な産学連携の促進

(2) 人材育成・・・専門職としての職能の確立

(1) 国際的な産学連携の促進

- 外国企業から大学へのアプローチは増加傾向
- 言語、法務、会計手続きの能力向上が課題
- 国内企業と外国企業の連携には特徴の違いが...

	国内企業	外国企業
連携目的	<ul style="list-style-type: none">•基礎～応用、幅広に連携•目的が曖昧な場合も(結果を期待してない?)	<ul style="list-style-type: none">•基礎での連携が多い•それなりの金額で目的も明確
納期	<ul style="list-style-type: none">•さほど厳格でない	<ul style="list-style-type: none">•厳格
発表	<ul style="list-style-type: none">•なるべく遅めに	<ul style="list-style-type: none">•早い発表を推奨
知財	<ul style="list-style-type: none">•資金提供したので共有•独占実施料はOK	<ul style="list-style-type: none">•発明者主義で帰属決定•実施料は当然支払う

(2) 人材・・・専門職としての確立

- 産学連携・大学知財マネジメント 新しい“専門職”
- “専門職”確立には・・・

次世代(若手)が飛び込む魅力的な仕事か？

- 社会的意義が大きく、魅力あり ()

雇用環境は適正か？

- NEDOフェロー等で、若手が増加中 ()
- 『経験者が教え、若手が学ぶ』仕組み ()
- 大学・TLOでの雇用は不安定 ()

将来のキャリアパスがあるか？

例) NEDOフェロー(max.3年)

知財本部スタッフ(任期付)

昇格？他TLO？民間？ベンチャー？ ()

若手人材の育成イメージ

